



慈悲の中に生かされる喜びと感謝

天の海に 雲の波立ち 月の舟 星の林に 漕ぎ隠る見ゆ

(柿本人麻呂 万葉集)

古来より人々を惹きつけてやまない月、秋は一年のうちでも最も月が美しく映える季節です。月を題材にした和歌は数多くありますが、この歌もなんとも幻想的な情景が目に浮かぶような和歌です。

浄土宗の宗歌「月かげ」は勅撰和歌集『続千載和歌集』にも選ばれ、仏心を受け入れる心を月の光を眺める人の心としてとらえ、阿弥陀仏の大慈悲を暗示した名歌ですが、この歌もまたクリエイティブな才能に溢れた柿本人麻呂の感性に溢れた名作です。

観測史上例のない猛暑や各地に大きな被害をもたらした台風の来襲等、異常続きだった天候もようやく落ち着き、実りの秋に相応しい爽やかな季節となりました。

先日、花見山公園のベンチに腰掛けて暫し読書を楽しんでいると、間もなく日も落ちかけてきたので立ち上がると、ふわりと風に乗って赤く色づいた一枚の葉が本の上に落ちてきました。つるべ落としの夕暮れ時、秋の一ページの思い出に、そっと本の中にしまい込んで家路を急ぎました。

さて、ある新聞の投書欄に次のような内容の一文が掲載されていました。満員電車で妊婦さんが乗って来られて、おばあさんと並んで座っていた五歳ぐらいの男の子が突然妊婦さんに駆け寄り、「座ってください。」と席を譲ろうとしたのです。妊婦さんは「おばちゃんは大丈夫、ぼく座っというて！」と応じました。すると男の子は、「おばちゃんも大変やけど、お腹の赤ちゃんに座ってほしい！」これを聞いた妊婦さんは声を詰まらせながら、「ありがとう ごめんね。」と言って座られたそうです。男の子はおばあちゃんの膝の上に座り、仲良く三人で楽しそうにしていました。一連の動きを見ながら、車内は和やかな雰囲気になりました。妊婦さんはきっと生まれてくる子もこんな子に育って欲しいなあと思ったのだらうと思います。

この記事を読んで慈悲心の大切さを改めて教えられました。詩集『にんげんだもの』の著者として知られる詩人・書家である相田みつお氏は次のような名言を残しています。

自分の事しか考えない人 自分の事として考える人
似てるけど 全然違うんだなあ

「慈悲」の「慈」とは相手に喜びや安楽を与え心豊かにする、「悲」とは相手の痛みと共に感じ、この苦しみを取り除いてあげたいと願う心です。『観無量寿経』の中に「仏心とは大慈悲これなり」と説かれています。すべての人々に分け隔てなく慈しむ慈悲が仏様です。私たちも阿弥陀様の大きな慈悲に包まれていることを大切にして日々の暮らしの中で生かしたいものです。



[裏面に続く](#)

【秋の彼岸会の様子から】

9月20日から26日まで、秋の彼岸会を厳修いたしました。23日(日)のお中日法要には50名を超える多くの檀信徒の方々にお参りいただきまして誠にありがとうございました。今回は法要の後、住職と副住職が法話をさせていただきましたが、御参詣の皆様には最後まで御清聴いただき、心より厚く御礼申し上げます。



また、お彼岸期間中、遠方からも多くの方々にお参りいただき、御回向をいただきました。中日法要で全体回向、彼岸の入りと結願法要で施主様毎に回向させていただきました。御回向賜りました皆様方、誠にありがとうございました。(別紙をご覧ください)

【お十夜法要のお知らせ】

今年もお十夜法要を下記の日程で行います。お十夜とはお念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めて「南無阿弥陀仏」とお念仏をお称えする大切な法会です。

11月2日(土)午後1時より、写経会回向に引き続いて本堂にて厳修いたします。(別紙をご覧ください)

お参りいただいた皆様方と共に、約2千回のお念仏をお称えさせていただく予定です。多くの方々の御参詣をお待ちしております。



【後期齋米(寺院経費)のお願い】

誠に申し兼ねますが例年の如く本年度後期寺院経費の御喜捨お願い申し上げます。皆様方には何かと御迷惑をお掛けしておりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

- ・担当評議員様のおられる地域につきましては評議員様に御無理をお願いして皆様方の御家庭に回っていただいております。
 - ・御遠方の檀信徒様には郵便振替用紙を同封させていただいております。大変御面倒をお掛け致しますが、宜しくお願い申し上げます。
- また、お寺にお越しいただいた折にお寺または役員会計様にお届けいただいても拝受させていただきます。

【院号料御寄進のお知らせ】

今回は下記の方より院号(什器什物基金)料を御寄進いただきました。誠に有り難うございました。御寄進いただきました方の御芳名は本堂内にも掲出しております。

- ・院号(什器什物)料 金70万円 為 浄善院教誉円月純洋居士(吉川 洋 様)
為 慈教院聡誉智光節信大姉(吉川 節子 様)
施主 吉川 洋 様
- ・院号(什器什物)料 金35万円 為 慈光院演誉大法純義居士(故 澤田 義一 様)
施主 澤田 康夫 様

【建築資金寄進のお知らせ】

今回橋本種継様より奥様の久代様の七回忌あたり、建築資金の追加寄進を賜りました。観音堂、山門等の第二期工事を控え、多額の資金が必要な中、厚く御礼申し上げます。また、毎月継続して分割御寄進いただいている方も多く、誠に有り難うございます。

- ・建築資金 金30万円(計130万円) 施主 橋本種継様